

2017年度版

さいたまの生協

CONTENTS

協同組合とは	1
会長理事あいさつ	2
埼玉県生協連の活動の紹介	3-4
消費者行政、食の安全・安心の取り組み	
行政との協働／平和の取り組み／協同組合間協同	
消費者運動の取り組み／震災復興支援の活動	
主な活動の歴史	
会員生協の紹介	5-6
埼玉県生協連の概要	7
会員生協行政区別組合員数	



埼玉のマスコット「コバトン」

協同組合

協同組合とは、人と人の結びつきによる非営利の協同組織です。日本をはじめ世界各国にさまざまな協同組合がありますが、どの協同組合も、参加する組合員の願いを実現するために人々が自発的に手を結んだ組織です。生協(生活協同組合)も、数ある協同組合のひとつです。生協以外の協同組合には、農業協同組合(農協)や漁業協同組合(漁協)、森林組合、事業協同組合、労働者協同組合、住宅協同組合、信用協同組合などがあります。2015年9月、国連持続可能な開発目標(SDGs)が採択され、協同組合の役割が位置づけられました。また、2016年11月、協同組合は「共通の利益の実現のために協同組合を組織するという思想と実践」のユネスコ「無形文化遺産」に登録されました。

世界の協同組合 ～国際協同組合同盟(ICA)～



世界各国の協同組合がつくる国際組織として、国際協同組合同盟(ICA=International Co-operative Alliance)があります。ICAには、世界103カ国から生協、農協、漁協、森林組合、労働者協同組合、住宅協同組合、信用協同組合など、あらゆる分野の299協同組合組織が加盟しており、組合員の総数は、10億人を超えます(2016年12月現在)。ICAは、国連に登録された世界最大のNGO(非政府組織)として世界の経済・社会・教育の発展に協力しています。

協同組合のアイデンティティに関するICA声明

ICAは、1937年の第15回大会で、世界の協同組合に共通する運営ルールを「協同組合原則」としてまとめました。これは1844年にイギリスで設立された「ロッチデール公正開拓者組合」の運営原則を基にしており、その後1966年の改定を経て、1995年の100周年記念大会(イギリス・マンチェスター)で、協同組合の定義・価値・原則からなる「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」が採択されました。この原則は、世界中のさまざまな協同組合の指針となっており、日本の生協もこの原則に基づき運営されています。

21世紀に向けた世界の協同組合の活動指針を示す新しい協同組合原則

定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織です。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎としています。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条としています。

原則

協同組合は、その価値を実践していくうえで、次の原則を指針としています。

- | | | | | | |
|------|--------------|------|-------------|------|------------|
| 第一原則 | 自主的で開かれた組合員制 | 第二原則 | 組合員による民主的管理 | | |
| 第三原則 | 組合員の経済的参加 | 第四原則 | 自治と自立 | 第五原則 | 教育、訓練および広報 |
| 第六原則 | 協同組合間協同 | 第七原則 | コミュニティへの関与 | | |

生活協同組合

生協は、消費生活協同組合法(生協法)に基づく組織です。生協法は1948年に制定され、2007年に抜本的・総合的な改正が行われました(施行は2008年)。生協法は、自発的なくらしの協同組織である生協を発達させることを通じて、豊かで安定した国民生活に役立てることを目的としています。

生活協同組合の歴史

世界ではじめて生協(協同組合)が誕生したのは、1844年・イギリスのロッチデールというところでした。当時のイギリスは、産業革命の真っただ中で、労働者は、失業、低賃金、高い物価に悩まされていました。また、混ぜ物の入った商品や目方の足りない商品を高く売るなど働く人々を苦しめていました。そんな生活に耐えかねたロッチデールの28人の労働者たちは、1年がかりで1人1ポンドを積み立て、同年12月、倉庫の1階に自分たちの店を開きました。このとき、売場に並んだのは小麦粉、バター、砂糖、オートミールの4品だけでした。この経験は、次々とヨーロッパに波及し、全世界へと運動の輪はひろがりました。



ロッチデール公正開拓者組合の最初の店舗(現在は記念館)

安心してらせる 地域づくりに 貢献していきます

埼玉県生協連会長理事
岩岡 宏保



埼玉県内の生協組合員は209万人に、年間事業高の合計は1,754億円になりました。組合員の利用や運営への参加、皆様のご理解とご支援のおかげです。

埼玉県生協連は、「平和とよりよき生活のために」に立ち返り、「各会員生協の実践を交流する場づくり」「社会への発信」「幅広い連帯の形成」を大切にしていきます。2017年度は、消費者被害防止、ヒバクシャ国際署名、生活困窮者支援について年間を通しての重点として取り組みます。

県内の生協は、商品、医療、福祉、共済、住宅、保育などの事業を通して、食の安全や環境に配慮した取り組み、災害時支援、消費者被害防止など、社会的な役割を発揮し、暮らしの安全・安心の確保に努めてまいります。

東日本大震災から6年以上を経過してもなお、埼玉県内には約4,500人が避難されています。全国の避難者数は約12万人、特に原発事故のあった福島県では復興が遅れています。昨年に引き続き、「福島の子ども保養プロジェクトin埼玉」や被災地での取り

組みを通じた被災者・避難者支援をすすめています。

本年度からの「埼玉県消費生活基本計画」には、「消費者団体・消費生活協同組合や事業者など各種団体との連携を図ることが大切」などの記述が数カ所にあり、自らも責任を果たさなくてはならない内容になっています。

埼玉県原爆被害者協議会や埼玉県地域婦人会連合会などと一緒に2004年から継続して取り組んでいる平和・市民5団体懇談会、埼玉弁護士会や埼玉県消費生活コンサルタントの会などと2008年から続けている消費者行政充実埼玉会議、埼玉県消費者団体連絡会、埼玉消費者被害をなくす会などとのネットワークを大切に、行政や消費者団体、諸団体との協力・協同の関係を築き、組合員や県民が安心してらせる地域づくりに貢献していくことが埼玉県生協連の大きな役割と考えています。

引き続き、皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。



消費者行政、食の安全・安心への取り組み

国や県行政との懇談・意見交換を通じ、消費者意見の反映に努めています

食の安全・安心確保に向けたコミュニケーション

関東農政局や埼玉県食品安全局との「消費者懇談会」にて、食の安全の取り組みや安全・安心確保に関する施策について学習や意見交換をおこなっています。

また、埼玉県、さいたま市、川越市、越谷市に対し、毎年策定される「食品衛生監視指導計画」案への要望書提出など、消費者意見の反映に努めています。



みんなで学ぼう、つながりを広げよう～地域での連携・協働～

消費者市民社会をめざし、消費者力を高める「県内消費者団体交流会」を県と協働で開催。市町村くらしの会や消費者団体のネットワークづくりや消費者行政の充実をめざし、「県内消費者団体交流会」(全体会・年1回)と「県内消費者団体地域別交流会」(3会場)を開催し、学習や交流をおこなっています。



行政との協働

県や市町村と協働して、組合員や県民の願いの実現をめざして活動しています

九都県市合同防災訓練への参加

埼玉県との「基本協定」(※)に基づいて、会員生協とともに合同防災訓練に参加しています。第37回九都県市合同防災訓練の埼玉会場(ふじみ野市で開催)では、生協の車両を使った緊急物資搬送訓練、防災フェアでの物資配布や血圧測定、タペストリー展示や家族で防災クイズなどをおこない、減殺・防災への備えを呼びかけました。

※1995年の阪神・淡路大震災を契機に、同年、埼玉県と埼玉県生協連の間で「災害時における県民生活の安定を図るための基本協定」を結んでいます。



埼玉県との連携

埼玉県の委託事業として、生協役職員や組合員を対象に「生協役職員等研修」を実施しています。「日本の奨学金のあり方を考える」「安全・安心な消費者市民社会に向けて～地域のいろいろな人とつながろう～」をテーマに学習会を開催しました。また、定期協議として要望等意見交換会を年2回開催しています。



平和の取り組み

人類共通の課題である核兵器廃絶の取り組みや、平和の大切さを広げる活動を進めています

県内諸団体とのネットワーク

県内の諸団体とネットワークを大切に、核兵器廃絶、平和の取り組みを広げる活動をおこなっています。「埼玉県原爆死没者慰霊式」の開催、「ヒバクシャ国際署名」に取り組みました。また、「平和のための埼玉の戦争展」に協力をしています。



ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ

被爆の実相を学び、継承するために、毎年、広島と長崎に代表を派遣し、被爆の証言、碑めぐり、日本生協連主催の「虹のひろば」等に参加しています。



… 主な活動の歴史 …

- 1972 埼玉県生活協同組合連合会設立。21 会員生協が参加。
- 1978 生協育成と生協法改正を求める請願活動
- 1981 母と子の原爆写真展開催
- 1988 食品添加物規制緩和反対運動
- 1995 埼玉県と「災害時における県民生活の安定を図るための基本協定」締結
- 1996 食の安全を求める運動スタート<県議会で「食品安全行政充実強化」を求める請願採択(請願署名 57 万筆)>
- 2000 家庭の電気ダイエットコンクールスタート、県内消費者団体交流会開催
- 2005 家庭の電気ダイエットコンクールが「第6回さいたま環境賞・県民大賞」受賞
- 2006 「消費者契約法改正法案」成立に向けて国会議員要請、同案は5月国会で可決・成立
埼玉県生協連が「埼玉県食の安心大賞」受賞
- 2007 「生協法改正法案」成立に向けて国会議員要請、同案が5月国会で可決・成立

人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現をめざし、活動しています。

協同組合間協同 —食料と農業を守るJAとの協同—

協同組合の発展とよりよい社会をめざし、JAと生協の相互の交流と協同の取り組みをおこなっています

体験稲刈り&田んぼの生きもの調査

昔ながらの手作業による稲刈りの実体験と田んぼの生きもの調査を通して農業への理解を深めてもらう取り組みをしています。体験後には、コンバインによる収穫実演の見学や生産者からお米づくりについて学んでいます。



彩の国食と農林業ドリームフェスタ

毎年秋に開催される彩の国食と農林業ドリームフェスタには、地域生協、医療生協が参加し、試食やパネル展示の他、健康チェック等をおこないました。



JA女性組織協議会と埼玉県生協連 会員生協組合員との早春交流会

協同組合としてつながりを強め、豊かな地域社会づくりをめざし学習と交流をおこない、22回開催しています。



消費者運動の取り組み

県内の消費者団体とともに、誰もが安心してくらす社会をめざして活動しています

第52回埼玉県消費者大会に700人が参加

地域で活動している市町村くらしの会や消費者団体25団体が参加して大会実行委員会をつくり、10月さいたま市文化センターで開催しました。全体会の記念講演では、藤田孝典氏(NPO法人ほっとプラス代表)を迎え、「現代日本の貧困～貧困世代と下流老人とは何か～」をテーマに学習したほか、午後には4つの分科会で学習と交流をおこないました。



適格消費者団体 NPO法人埼玉消費者被害をなくす会の活動

消費者被害の未然防止・拡大防止に向け、事業者には是正を求める活動を行っています。2016年度は、差止訴訟1件、9事業者への延べ13件の申し入れと12件の問合せ、消費者力アップ学習会(3回開催)、消費者被害アンケート「めやすばこ」の実施。また、県より消費者被害防止サポーター活動推進事業を受託し啓発活動に努めています。



震災復興支援の活動

さいたまの生協は、被災地や避難された方々への支援を継続しておこなっています

2016コヨットin埼玉

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故により、健康被害の不安を抱えながら暮らす福島の子どもたちに屋外でのびのび遊んでもらうことを目的に開催。埼玉県ユニセフ協会と埼玉県生協連共催、ボーイスカウト連盟協力のもと、子どもたち19人を埼玉県立小川げんきプラザに迎えました。キャンプファイヤー・和紙すき体験等、楽しい3日間を過ごしました。
※コヨットは、子ども保養プロジェクトのこどもの「コ」、ほよの「ヨ」、プロジェクトの「ト」の通称



- 2008 「消費者行政の一元化を推進する新組織の実現を求める請願署名」<署名 11,057 筆>に取り組む
- 2009 NPO 法人埼玉消費者被害をなくす会が全国で7番目の適格消費者団体に認定
- 2011 東日本大震災に対し、県内生協で被災地・被災者・埼玉県内への避難者の方々に支援、継続取り組み
- 2012 埼玉県生協連創立40周年記念事業開催(7月)。2012 国際協同組合年埼玉実行委員会(JAや生協など)による記念イベントを開催(7月)。福島の子ども保養プロジェクト in 埼玉(さいたま市等)実施(8月)

- 2013 しらさぎ会主催実行委員会協力の第28回埼玉県原爆死没者慰霊式を開催(7月)。
福島の子ども保養プロジェクト in 埼玉(長瀬・秩父)実施(7月)。
- 2014 2014 コヨット in 埼玉(飯能市名栗)実施(8月)。
第50回埼玉県消費者大会を約1,200人の参加で開催(10月)。
- 2015 しらさぎ会主催実行委員会協力の第30回埼玉県原爆死没者慰霊式と被爆70周年記念事業を実施。
2015 コヨット in 埼玉(飯能市名栗)実施(8月)。
- 2016 2016 コヨット in 埼玉(小川町)実施(7月)。
- 2017 ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会発足(3月)

会員生協の紹介

地域購買生協

共同購入・宅配・店舗を通じた組合員に必要な商品・サービスの供給が柱になっています。

医療福祉生協

病院・診療所・老健施設などを持ち、保健・医療・介護の事業と運動を展開しています。

共済生協

共済事業等をおこない、総合的な生活保障をめざした取り組みをすすめています。

大学生協

学生・教職員で組織され、食堂・書籍・共済などの事業をおこなっています。

住宅生協

住宅や宅地の分譲、住まいの講座、住宅相談などをおこなっています。

高齢協

居宅サービス、デイサービスなど福祉分野の事業をおこなっています。

保育生協

良い環境の中で、子ども達の健やかな成長を促すための保育をしています。

生協事業連合

県域を超えた生協の連合会。商品開発・仕入や事業等の運営の共同化をしています。



生活協同組合コープみらい



埼玉県、千葉県、東京都を事業エリアに、ビジョン2025「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ」の実現に向け、コープデリ宅配や店舗、福祉などの事業活動を通じて組合員のくらしに貢献します。

所在地：〒336-8523
さいたま市南区根岸1-5-5
TEL：048-864-1181
組合員数：3,344,652人
事業高：3,853億4,890万円

生活協同組合パルシステム埼玉



パルシステム埼玉では、組合員活動施設「ばる★てらす」(浦和区)をはじめ、県内各地で組合員活動をさらに活発にするとともに、「人と人の結びつき」「支えあい」を大切にしながら、地域に生協の価値を広げてまいります。

所在地：〒335-0005
蕨市錦町2-10-4
TEL：048-432-7093
組合員数：196,816人
事業高：266億3,687万円

生活クラブ生活協同組合



生活クラブ生協は「持続可能な生き方」を合言葉とし、食べ物(Food)、エネルギー(Energy)、福祉(Care)を自給・循環させる「FEC自給ネットワーク」を地域に広げていきます。

所在地：〒336-0021
さいたま市南区別所5-1-11
TEL：048-839-4881
組合員数：31,725人
事業高：91億3,792万円

埼玉県勤労者生活協同組合



当組合では、福島復興支援として、4年前よりNPO法人シャロームの「ひまわりプロジェクト」に参加しています。組合員の皆様にご協力頂き、ひまわり栽培を通じて、福島と福島を支援する方々との絆を深めております。

所在地：〒332-0012
川口市本町4-2-3
TEL：048-251-3089
組合員数：55,996人
事業高：2億5,970万円

医療生協さいたま生活協同組合



2016年夏、生協歯科、あさか虹の歯科、行田協立診療所歯科では、体験型の学習会「夏休み子ども保健教室」を開催しました。これは、地域における健康づくり活動の一環です。居場所づくりや見守り活動も、いっそう活発になっています。

所在地：〒333-0831
川口市木曾呂1317
TEL：048-294-6111
組合員数：225,485人
事業高：208億2,711万円

埼玉県勤労者共済生活協同組合(全労済)



全労済は「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の理念のもと共済事業を通じて暮らしに「安心」を届けます。全労済ぐりんぼうの窓口は、県内9カ所。皆さまの保障に関するご相談にお応えします！

所在地：〒338-8504
さいたま市中央区下落合1050-1
TEL：048-822-0631
組合員数：482,944人
事業高：258億6,860万円

さいたま住宅生活協同組合



創立25周年目の節目の年、組合員への感謝の気持ちと、ひろく県民に対し住宅生協を知ってもらえるよう今年度1年間、記念行事に取り組みます。住まいは「人権」という考えを基本にし、「安全・安心・快適」な住まいづくりを進めています。

所在地：〒330-0062
さいたま市浦和区仲町2-10-12
TEL：048-835-2801
組合員数：24,836人
事業高：5億8,442万円

子どものその保育生活協同組合



自然の中でからだを使って遊び、あたたかな人間関係の中で、子どもが子どもらしく生きることを大切に保育を行っています。昨年1月から始まった卒園生対象事業も好評を博し、およそ月に1回のペースでいろいろな企画を行いました。

所在地：〒356-0013
ふじみ野市中福岡79
TEL：049-262-2030
組合員数：1,242人
事業高：869万円

生活協同組合・さいたま高齢協



私たちは、高齢になっても、障害があっても、地域の中で、いきいきくらしていける地域づくりを目指します。そのためには地域の協力のネットワークが大切。微力ながら力を尽くしていきます。

所在地：〒359-1103
所沢市向陽町2001-3
TEL：04-2941-2111
組合員数：949人
事業高：1億2,739万円

コープデリ生活協同組合連合会



コープデリ連合会は、コープみらいをはじめ、関東信越の6生協が加盟する連合会です。「CO・OP ともにくぐむ くらしと未来」を理念とし、食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協を目指しています。

所在地：〒336-8526 さいたま市南区根岸1-4-13
TEL：048-839-1371
会員数：6会員（コープみらい・いばらきコープ
とちぎコープ・コープぐんま・コープながの
コープいがた）
事業高：3,626億7,580万円※事業高は、会員生協への出荷高

埼玉大学生生活協同組合



埼玉大学生協では新たに大学生活を始めたい新入生の為に、学生委員会と協力して新入生サポートセンターを開設、先輩が直接新入生との交流をもつ「新入生交流会」「保護者のつどい」を行い、大学生活を送るためのサポートを行いました。

所在地：〒338-8570
さいたま市桜区下大久保255
TEL：048-853-1764
組合員数：11,666人
事業高：11億5,817万円

大東文化学園生活協同組合



大東文化学園生協は、東松山・板橋にて福利厚生団体として、学内ステークホルダーに貢献しています。大学とすすめている「食育事業：朝ごはんプロジェクト」も7年目を迎え、毎日平均で100名以上のご利用があります。

所在地：〒355-0065
東松山市岩殿560
TEL：0493-35-1521
組合員数：11,158人
事業高：5億6,362万円

跡見学園女子大学生生活協同組合



生協店舗ではCO-OP GIRLS(学生委員会)が棚づくりや装飾を行い、商品の品ぞろえの改善や、来店しなくなる店づくりにがんばっています。その結果として、2016年度は好調な結果となることができました。

所在地：〒352-8501
新座市中野1-9-6
TEL：048-481-0727
組合員数：3,869人
事業高：2億8,227万円

淑徳大学みずほ台生活協同組合



淑徳の「ひとことカード」の特徴は、生協の食堂、店舗だけでなく利用者が多い図書館にもコーナーがあることです。図書館へのリクエストも入ることがあり図書館も学生のリクエストに応じてくれています。

所在地：〒354-0041
入間郡三芳町藤久保1150-1
TEL：049-259-5151
組合員数：1,364人
事業高：9,816万円

十文字学園生活協同組合



学生委員会を中心に組合員同士の交流・参加・仲間づくりの企画を実施しています。今年も20名以上の新入生が学生委員会に入りました。毎週1回の部会を軸に、カフェテリア局、店舗局、広報局に分かれて活動し、「魅力ある十文字学園づくり」に参加・貢献していきます。

所在地：〒352-8510
新座市菅沢2-1-28
TEL：048-489-1277
組合員数：2,880人
事業高：1億8,005万円

東都生活協同組合



東都生協は「産地直結」を活動の基軸として事業と活動を展開。日本の農業を大切に考え、国産にこだわり、食の安心を次世代に継承する食の未来づくり運動を通じ、食卓から日本の農業を応援する活動に取り組んでいます。

所在地：〒156-0055
東京都世田谷区船橋6-19-12
TEL：03-5374-4750
組合員数：236,223人
事業高：319億7,848万円

埼玉県生活協同組合連合会の概要

埼玉県生活協同組合連合会(略称:埼玉県生協連)は、より良いくらしを実現していくために
 埼玉県内の生協が結集して1972年6月に設立されました。以来、埼玉県内生協の
 事業の発展と活動の交流、共通する課題での協同の取り組みをすすめています。

概要

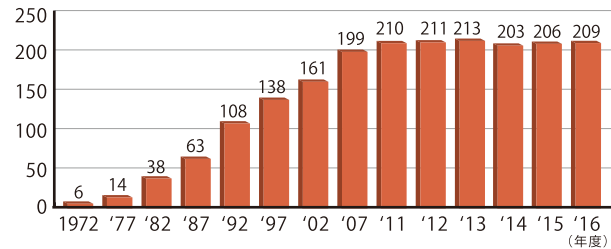
会員生協	県内16生協(地域購買生協4、大学生協5、医療・共済・住宅など各種生協7)
組合員数	209万人
事業高	1,754億円
出資金	883億円
その他	埼玉県消費者団体連絡会、特定非営利活動法人埼玉消費者被害をなくす会の事務局を設置(2017年7月現在)

役員 (2017年7月現在)

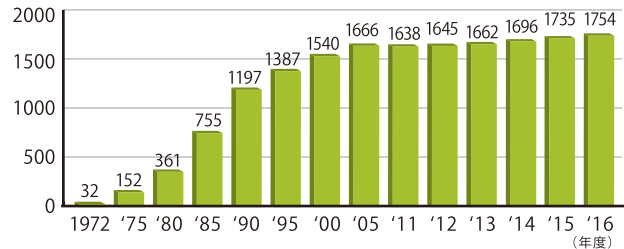
会長理事	岩岡 宏保(専務理事兼務、員外・常勤)	理事	吉川 尚彦(コープデリ連合会 執行役員)
常務理事	大久保 美紀(員外)	理事	柳川 聡一(埼玉県勤労者生協 専務理事)
常務理事	齊藤 民紀(医療生協さいたま 専務理事)	理事	後藤 晴雄(さいたま住宅生協 理事長)
常務理事	横山 博志(パルシステム埼玉 専務理事)	理事	増田 アツミ(さいたま高齢協 理事長)
常務理事	大山 克己(コープみらい 理事)	理事	中村 正巳(埼玉県労働者共済生協 専務理事)
理事	関野 利香(コープみらい 理事)	理事	渋谷 正明(埼玉大学生協 専務理事)
理事	前田 多賀美(パルシステム埼玉 理事)	監事	横田 厚(コープみらい 監事)
理事	重盛 智(生活クラブ 専務理事)	監事	奥野 友佳子(パルシステム埼玉 監事)
理事	亀田 一美(生活クラブ 理事)	監事	高藤 美和子(医療生協さいたま 常勤監事)
理事	中島 光知子(医療生協さいたま 常務理事)		

会員生協の組合員数・事業高の推移

組合員数 (単位:万人)



事業高 (単位:億円)



会員生協行政区別組合員数 (地域購買生協と医療生協さいたまの組合員数)

自治体名	世帯数	組合員数	自治体名	世帯数	組合員数	自治体名	世帯数	組合員数
さいたま市	548,357	314,939	越谷市	140,181	57,941	飯能市	32,280	14,930
草加市	108,572	36,767	八潮市	37,672	11,621	狭山市	62,930	36,304
川口市	251,804	150,037	三郷市	57,183	23,971	ふじみ野市	46,795	20,723
蕨市	35,079	11,516	幸手市	20,867	6,438	富士見市	48,276	22,907
戸田市	61,660	20,797	杉戸町	17,491	7,157	三芳町	14,595	6,515
上尾市	93,053	54,835	松伏町	10,805	4,482	川越市	149,042	65,258
桶川市	29,394	18,380	吉川市	26,582	10,685	毛呂山町	15,545	4,406
伊奈町	17,083	8,584	秩父市	24,002	23,368	越生町	4,549	1,875
北本市	27,071	18,712	横瀬町	3,052	3,014	鶴ヶ島市	29,212	11,793
鴻巣市	45,943	25,583	小鹿野町	4,280	3,265	日高市	22,379	9,410
志木市	31,732	17,302	皆野町	3,671	3,023	坂戸市	43,656	16,521
新座市	68,934	31,570	長瀬町	2,675	2,345	川島町	7,341	3,035
朝霞市	61,034	22,421	東秩父村	1,024	483	吉見町	6,883	3,556
和光市	37,443	11,180	美里町	3,651	1,671	東松山市	38,227	15,495
行田市	31,222	22,752	上里町	11,422	3,784	滑川町	7,084	3,055
羽生市	20,734	7,481	神川町	5,151	1,547	嵐山町	7,066	2,785
加須市	41,917	17,506	本庄市	31,627	10,512	小川町	12,000	5,286
久喜市	60,295	26,256	深谷市	54,229	33,384	ときがわ町	4,186	1,745
蓮田市	24,823	12,889	寄居町	12,976	5,595	鳩山町	5,347	2,396
宮代町	14,062	5,569	熊谷市	77,836	54,637	小計	3,038,575	1,538,164
白岡市	19,792	8,661	所沢市	148,635	94,091	労済生協他		553,104
春日部市	96,201	52,908	入間市	59,965	30,510	総計	3,038,575	2,091,268

組合員数は、2017年3月末を基本とした人数。コープみらいは、さいたまエリア組合員数。とうきょう、ちばエリアは含んでいません。重複加入を含みます。世帯数は2017年4月1日現在の推計人口に拠る数値です。

埼玉県生活協同組合連合会

会長理事 岩岡 宏保

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-11-5

TEL.048-844-8971 FAX.048-844-8973

<http://saitama.kenren-coop.jp/>